

体験コーナー進行例

高校

地域教育推進ネットワーク東京都協議会 防災教育プロジェクト

コーナー	ロープワーク	
目標	生徒が「自分たちはできる！」と自信を持てるものにする	
スタッフ数	2～3人	
準備物	①ロープ ②資料 結び方の説明図、	
会場 平面図		
進行	5分	全体説明。生徒が興味や危機感を持てるような説明をする。 過去のロープ使用した話とともに、その際に使われたロープの形を事前につけておき、それを展示する。
	13分	体験。実際にロープワークを生徒に体験してもらい、その中でロープの使用法を学ぶ。 1項目(もやい結び(単体))を三回程度丁寧に繰り返し行う。 次に、確認でもやい結びを何も見ないでやってみる。
	2分	終わりの言葉。ロープのことについて話し、そしてロープワークを終了する。
進行上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・結びの1個の行程を1つずつ丁寧に説明していく。 ・みんなが理解できるように、手本の動作をおおげさに、みんなが見えるようにする。 ・「違う」などの否定の言葉は使用しない。 ・出来る限り小さな円をつくりロープワークをする。 ・担当者は、積極的に生徒の輪に入るようにする。 ・タイムキーパーを作り、時間を厳守するように心がける。 ・できれば、ロープを使ったマジックで終わるなど、災害時以外でもロープを使う機会をつくれるようにする。 	

